

診療科	午前診	午後診	夜診
漢方内科	【月・水曜日】井齋医師 【火・木曜日】巢山医師 8:00～12:00		【月曜日】井齋医師 【木曜日】巢山医師 16:30～19:00
内科	【月～土曜日】 8:00～12:00		【月・木曜日】 16:30～19:00
小児科	【月～金曜日】 8:00～12:00	【月～木曜日】 13:00～16:00	【月・木曜日】 16:30～19:00
循環器内科	【土曜日】札幌東医師 8:00～11:00	【火曜日】上原医師 13:00～16:00 【金曜日】札幌東医師 11:00～16:00	
整形外科	【16日木曜日】富田医師 【9・23・30日木曜日】本家医師 8:00～11:00	【16日木曜日】富田医師 12:30～14:00 【9・23・30日木曜日】本家医師 12:30～14:30	予約制です 電話にて予約をお願いします
脳神経外科	【8・22日水曜日】村上医師 8:00～12:00	【8・22日水曜日】村上医師 13:00～15:30	
泌尿器科	【金曜日】太田医師 8:00～11:00	【金曜日】太田医師 12:30～14:30	

- ・ 外科外来は休診です。必要に応じて漢方内科にて対応を行います。
- ・ インフルエンザ、コロナウイルスの予防接種は、電話予約でのみ受け付けます。



Inkar - インカラ - vol.64



-TOPICS-

新年のご挨拶
院長の独り言
外来受付時間のご案内

医療法人 徳洲会 日高徳洲会病院

〒056-0005 北海道日高郡新ひだか町静内こうせい町1丁目10番27号

☎ 0146-42-0701



院長
井齋 偉矢

新年あけましておめでとうございます。
例年よりは気温が低めですが、静内らしい雪の少ない年末年始でした。
寒い季節になりますと、毎年インフルエンザが流行しますが、今回は新型コロナウイルス感染症も同時に流行しており、これにマイコプラズマ感染症も加わって、油断のない状況が続いております。感染対策の基本は20秒以上の丁寧な手洗いと、十分な睡眠とバランスの取れた栄養をベースにした、ウイルスに対抗できる免疫力です。日高徳洲会病院は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したあとも、引き続き発熱外来を維持して地域の皆様の安心を支えていると自負しております。ご心配をおかけしておりました病院の新築移転に関しましては、やっと基本的な方針が固まりつつあります。まもなく、詳細をお伝えできることと思います。今年も日高徳洲会病院は徳洲会の理念である「いつでも、どこでも、誰でもが最善の医療を受けられる社会」を目指して実直に歩んで参ります。



看護部長
木下 淑子

新年あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年度は、年明けより心の痛む災害や事故が起きました。また、大きく揺れ動く世界情勢の不安定化など、暗いニュースが先行した年であったように思えます。今年度は、明るいニュースが多い、幸せな年となりますよう心から願っております。
当院は、昨年、変革の年でした。長年続けてきた療養病棟のひとつを、回復期リハビリテーション病棟として生まれ変わりました。医師、看護師、リハビリが中心となり回復期リハビリテーションチームを立ち上げ、様々な課題を解決しながら回復期リハビリテーション病棟を開設しました。今まで、組織横断的なチーム活動が、多くなかった当院ですが多職種協働でやり遂げた大事業です。今年度は、回復期リハビリテーション病棟を軌道に乗せ、多くの患者様にご利用頂きたいと思っております。
今年も徳洲会看護部の理念である「心に届く看護」の実践のために、患者様に寄り添い、地域の皆様の健康回復・維持に努めてまいります。
本年もどうぞよろしくお願い致します。



事務長
永井 司

明けましておめでとうございます。
昨年は年始から能登半島の大地震、羽田空港での衝突火災事故と悲しい出来事が続きました。今年度は災害や事故もなく穏やかな年であるように願っております。
新型コロナ感染症もやや陰りを見せ、インフルエンザや他の感染症とほぼ変わらない対応に変わりつつあり、以前と違い、落ち着いて対応できるようになりました。まだまだ油断はできませんが、今後も地域の基幹病院としての本来の役割を果たしていきたいと考えています。
当院は1990年10月1日に「かとう病院」を譲り受けて産声をあげた「医療法人静仁会静仁会静内病院」から「医療法人徳洲会日高徳洲会病院」として生まれ変わりました。この間、日本の医療は大きく変貌し、その変化に応じて、当院の役割も変わってきました。当院は地域の総合病院であり、断らない医療の理念を掲げ、急性・慢性疾患の日常診療を堅実にを行うとともに、気軽に相談できる窓口として機能しています。また、外来や健診などを介して、病気の早期発見に努め、必要に応じて適切な専門医療機関へ遅滞なく紹介することも大きな使命と考えています。
入院については、基幹病院で手術や治療を受けた方々の在宅までのリハビリを行う後方支援病院としての役割も果たしています。退院後に続くこととして、患者さんが住み慣れたこの地域で安心して生活できるよう訪問診療・訪問看護・訪問リハビリなどの訪問系や通院・通所リハビリなどで在宅生活を支えていきます。
新しい年を地域の皆様方とともに、明るく楽しい年にしていきたいと思っております。
本年も日高徳洲会病院をどうかよろしく願います。

院長の独り言

急性呼吸器感染症、「5類感染症」へ

厚生労働省は、2025(令和7)年4月7日から感染症法施行規則改正により急性呼吸器感染症(俗に言う「風邪」)を感染症法上の5類感染症に位置付け、定点サーベイランスの対象とすることを発表しました。現在5類感染症に指定されている感染症には、新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発疹、百日咳などがあります。急性呼吸器感染症は、急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎)または下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す病原体による症候群の総称です。急性呼吸器感染症を5類感染症に位置付けた目的として、飛沫感染などにより周囲の人に感染させやすいのが特徴であり、新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえ、次の2点が示されています。



(1)すべての風邪を対象にしているのではなく、流行しやすい急性呼吸器感染症の流行の動向を把握すること(2)仮に未知の呼吸器感染症が発生して増加し始めた場合に、迅速に探知することが可能となるよう、平時から調査・監視の対象とします。厚労省では、今回の5類感染症への位置付けにより、公衆衛生対策の向上につながるとしています。つまり、新型コロナウイルス感染症のときのような、流行が始まってから慌てふためくのではなく、流行する前にその予兆を把握して、対策を立てることができるようにするのが目的です。中国がゼロコロナ政策をとったようなドタバタ劇は、国民の日常生活をマヒさせたという意味では、反面教師となっており、その轍を踏まないようにすることが重要です。今年の4月7日以降、急性呼吸器感染症定点医療機関および病原体定点医療機関は、多くの5類感染症の定点把握と同様に、1週間当たりの患者数の報告が求められます。具体的には「咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のどれか1つの症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例」とされています。今回の位置付けによって特別な患者負担や学業・就業など日常生活での制約はありません。

